

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力・体力の向上
- 生命を尊重する教育の推進
- 特別支援教育の充実
- 立川市民科の充実

重点取組事項

- ネットワーク型の学校経営
- カリキュラム・マネジメント
- 探求的学習の推進
- 一人1台タブレットの推進

立川第三中学校 教育目標

- 立志** … 自分の将来の姿、生き方をイメージし、その実現に向けて努力しよう（自己実現力、実践力）
- 鍛錬** … より良い自分を目指し、学習に励み、感性を磨き、体力向上に努め高めよう（主体的態度、主体的思考力、課題発見・解決能力）
- 協調** … 一人一人の個性を認め合い、互いに協力し成長し合おう（人間関係形成能力）

経営理念

立川三中の良き伝統と校風を継承しながらも、時代の変化や地域社会の要請を真摯に受け止め、より充実した立川三中の教育活動を「チーム三中」としてスクラムを組みながら創造していく。

- 1 学校経営方針に基づき、すべての教職員がそれぞれの指導力と個性を発揮します。
- 2 学校教育のあらゆる場や機会を通じて、意図的・計画的・組織的・継続的に教育活動を推進していきます。
- 3 目標に向かって展開するPDCAサイクルに従い、生徒の変容や成長を把握し改善点を練り、教育活動を一層充実させて、カリキュラム・マネジメントの確立を図ります。

目指す生徒像

「自分を信じ、仲間を信じ、認め合い励まし合いながら共に成長する生徒」

- 思いやりをもって自分から笑顔で明るい挨拶や声かけ、リアクションをとれる生徒
- 自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動できる生徒
- 心身ともに健康（よく食べよく寝てよく体を鍛える）で、夢の実現に向けて努力する生徒

目指す学校像

「生徒一人ひとりが目を輝かせ、ワクワクしながら笑顔で前向きに活動できる学校」

- 生徒が伸び伸びと過ごせる居場所があり、人権感覚に優れた安心・安全な学校
- 生徒も教師も共に学び合い学び続ける中で、確かな学力が確実に身に付く学校
- 生徒が主体となり生き生きと活動ができる学校行事・生徒会活動・特別活動・部活動等を通して、自他を大切に互いに支え高め合い、豊かな心と健やかな体を育む学校

教職員の基本姿勢

- 公教育に携わる者であるという自覚の上、服務の厳正に努め、市民の信頼にこたえる。
- 生徒一人ひとりを厳しく見つめ、温かく認め、愛情をこめて導く。
- 保護者・地域の声には、まず耳を傾け、誠意をもって対応する。
- OJTを活性化するとともにキャリアプランに基づいた研修に努め、たゆまぬ授業改善を繰り返しながら実力ある専門家としての教師を目指す。
- 職員相互の理解に努め、明るい職員室の中で、協働による実践を進める。
- 進行管理・情報管理・健康管理の「3管理」（セルフコントロール）に努める。
- 特別支援教育の視点を持ち、生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、「ユニバーサルデザイン教育」＝「すべての生徒にとって分かりやすい教育」を進める。

令和7年度の重点目標と方策

<確かな学力と体力の向上>

- 各教科における基礎・基本の定着のための取組
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導の工夫として、授業の目標と展開を提示（主体的な学び）・他者と交流する学習活動（対話的な学び）・まとめ・振り返り、「見方・考え方」を働かせて学んだ知識・技能の整理、課題の発見（深い学び）
- 個性や能力に応じた学習活動を提供したICT機器の活用による個別最適な学びと共同的な学びの充実
- 授業・学習活動におけるユニバーサルデザインの推進とデジタルドリル、タブレットPCの活用
- 「興味をもたせ、できた、わかった」の実感できる「ワクワクさせる授業展開」
- 少人数習熟度別授業等の効果的実施（数学・英語）
- 生徒の「学びに向かう力」を育成するための補充学習、自習教室の実施
- 主体的に運動に取り組む態度の育成と体力の向上及び心身の健康の保持増進への取組

<教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメント>

- 学力向上を図るための指導と評価の一体化の充実
- 探究的な学習を通じた、課題発見・解決能力、人間関係形成能力、自己実現力、実践力等の育成
- 学校生活への適応や人間関係の形成、適切な進路選択を行うためのガイダンス機能の充実、社会参画への意欲を高めることによる自己実現
- 行事で達成感・成就感を味わわせ、自己肯定感や自己有用感をもたせ、豊かな社会性や人間関係を育成
- 生徒の交流や市民、地域、関係諸機関と連携した、職場体験活動、ボランティア体験等

<豊かな心を育む教育>

- 「考える道徳」「議論する道徳」の授業を展開する中で、豊かな心・やさしい心の育成
- 自尊感情や自己肯定感、自己有用感を高めさせ、生命の大切さ及び自殺防止に対する意識の向上
- 人権についての正しい知識の定着と人権に対する意識の向上、規律ある学校生活を送ることができるよう全職員の共通理解に基づいた適切な指導の推進
- 心理分析調査やふれあい月間アンケート結果をもとにした意図的・計画的な生徒理解・相談活動
- いじめに関わる状況把握と対応の徹底、関係諸機関と連携した未然防止・早期発見・早期対応・早期解決
- 集団の一員としての自覚を育て望ましい人間関係を構築させるために自治活動を重視。思いやりをもって自ら明るい挨拶や声かけ、リアクションをとる中で、主体的によりよい学校生活を築こうとする態度の育成
- 学校行事や生徒会主催のボランティア活動等にて、主体性を育成できる場面及び社会貢献できる場面の意図的計画による実践力の育成
- 明るい挨拶や声かけ、リアクションがとれる生徒育成の推進。生徒会活動や小中連携活動等による創意工夫した「あいさつ運動」等の実施
- 朝読書での読書習慣の定着と支援員・地域との連携

<小中連携教育の推進>

- 児童・生徒・教員の相互交流及び研修による小中連携教育活動の実施

<特別支援教育の推進と様々な配慮・支援が必要な生徒への支援の充実、不登校の未然防止>

- 特別支援教室との連携を図った、ソーシャルスキルトレーニングによるコミュニケーション力向上
- 校内委員会の実施と学校支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携を図った組織的な対応、関係諸機関との連携による個に応じた支援・合理的配慮の充実
- 「学校生活支援シート」「個別指導計画」「登校支援シート」を活用した、特別支援教室専門員や特別支援教室教員、学校支援員、関係諸機関との組織的な支援
- UD通信やUDチェックシートを活用した、ユニバーサルデザインの視点からの環境整備と授業改善（掲示物、連絡黒板の使い方等の環境整備や授業における共通事項の徹底（めあて、見通し、振り返り、指示の出し方等）、全教室における椅子・机の移動時の騒音軽減に向けた取組等）
- 学校支援員と連携した「グリーンルーム」や不登校対応巡回教員を活用することによる、不登校の未然防止、不登校要因の解消
- 心理分析調査等の結果を基にした不登校の早期発見。
- 全教員による継続的・組織的な支援体制での指導による不登校対応。必要に応じ、「グリーンルーム」や不登校対応巡回教員、タブレット端末の活用等、個に応じたきめ細かい支援や、諸機関との連携の推進。教育相談機能の充実

<コミュニティ・スクールとして、地域と連携した学校作りの推進>

- 学校ホームページ等学校の取組を積極的に公開
- 学校運営協議会、地域学校協働本部、地域・保護者との協働
- キャリア教育への積極的な地域人材・地域事業所等の活用、近隣大学・高校との連携推進、関係機関、自治会等との協働による防災訓練の実施、学校支援ボランティアの積極的な活用を推進
- 「立川市民科」における小中連携活動や地域との連携活動による地域理解、郷土愛の醸成
- 職場体験活動等のキャリア教育の推進
- 自己の特性理解、職業観や勤労観の育成、自らの生き方を考えていくことができる能力や態度の育成
- 地域各団体との連携による、地域諸活動の紹介、参加の呼びかけ（掲示・アナウンス・ICT活用等）

<危機管理>

- 地域防災訓練の実施や様々な危機を想定した訓練の実施（関係機関との連携した訓練、教員研修）
- 保健指導及び食育の観点から踏まえた給食指導の充実、食物アレルギーについての理解と事故の絶無
- 「食」への関心を高め、健全な心と体を培い、心と体の健康づくり及び食育の推進
- 薬物乱用防止、医療関係等の外部機関と連携した「がん教育」や「性教育」の充実と健康教育の推進
- 生命の尊重やSOSの出し方に関する教育の推進
- セーフティ教室や「SNS三中ルール」を活用した情報モラル教育や情報リテラシー教育の充実
- 生活安全・交通安全・災害安全の安全3領域に関する指導の実施。「学校危機管理マニュアル」「安全教育プログラム」及び「防災ノート～災害と安全～」 「東京防災」を活用した安全指導の取組

このグランドデザインは、学校経営計画の概略版です。学校ホームページにも掲載しています